デーリー東北新聞社提供

デーリー東北
2022年（令和4年）2月15日（火曜日）（16）

南部菱刺しの魅力紹介

八工大生がビジュアルブック作成

写真とイラスト、目で楽しんで

八戸

八戸工業大感性デザイン学部の学生が南部菱刺しを紹介するビジュアルブックを作成した。タイトルは「菱刺しA to Z」で、イラストと写真をメインに地域の手仕事の美しさや奥深さを伝える。同学部創生デザイン学科4年の高松有咲さん(22)と田中館瑠花さん(21)は「手に取ってくれた人の心に、菱刺しの素晴らしさが残ってくれればうれしい」と語る。（小林彩乃）

2人は同大で菱刺しに関する授業を受けて興味を持ち、卒業研究の一環として取り組んだ。青森学術文化振興財団（青森市）の助成を受け、冊子作りを進めた。

タイトル通り、AからZまでのアルファベット順に並ぶ「Clothes（衣服）」や「Vivid（鮮やかな色彩）」などのキーワードから、菱刺しの秘密をひもとく。高松さんが文章と写真、田中館さんがイラストとレイアウトを担当し、大学でデザインを学ぶ学生ならではの、目で楽しめる一冊に仕上げた。

2人は地元の作家や施設を歩き、菱刺しの現状を取材。指導した川守田礼子准教授は「この冊子を通して『菱刺しは進化し続けている』と気付いてもらえるはず」と太鼓判を押す。

高松さんは「私たち初心者ならではの視点を大切に取り組んだ。菱刺しを知らない人でも、楽しめるビギナー向けの冊子に仕上がったと思う」、田中館さんは「冊子を見て心が動いたら、ぜひ菱刺しを見に行ったり、買ってみたりしてほしい」とそれぞれ充実感をにじませた。

ビジュアルブックは八戸市のユートリーで無料配布している。今後、八戸工業大のホームページで冊子のデータを公開する予定。問い合わせは八戸工業大川守田研究室＝電話0178（25）3111＝へ。

菱刺しの魅力を伝えるビジュアルブックを完成させた（左から）田中館瑠花さん、高松有咲さんと川守田礼子准教授

写真とイラストで菱刺しの美しさを見せる「菱刺しAtoZ」

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。